第39回　2024年度総合技術講演会次第（第１日）

※演題および講演順は変更になることがあります。

場所：ホテルメトロポリタン ３F「富士の間」

主催：一般社団法人　日本鉄道施設協会

2024年10月23日(水)

9:00　　挨　　拶　一般社団法人　日本鉄道施設協会　　会　　長　　大　竹　敏　雄

来賓挨拶　国土交通省　　大臣官房技術審議官（鉄道局担当）　　岸　谷　克　己　様

部門別	講演番号	時　刻	演　　題	社　　名	所　　属	講演者氏名
保線	1	9:20～ 9:45	進み量を考慮した著大な通り変位に対する保守管理手法の策定	JR九州	門司保線区　行橋保線管理室　施設技術係	野中　佳祐
	2	9:45～10:10	軌道材料モニタリングを活用したレール検査の実現に向けて	JR東日本	大月保線技術センター　指導係	山田　鈴夏
	3	10:10～10:35	ジオテキスタイルを用いた鉄まくらぎ内部の道床バラスト補強方法と軌道変位抑制効果の検討	日本貨物鉄道	九州保全技術センター　施設係	草野　陸
		10:35～10:45	**休　　憩**			
	4	10:45～11:10	レール削正作業における中きしみ割れ傷の予防対策	小田急電鉄	工務技術センター　機械保線区　保線副班長	平山　翔
	5	11:10～11:35	低コスト化を目的とする軌道狂い予測を考慮したMTT計画策定	JR東海	新幹線鉄道事業本部　豊橋保線所　施設係	川本　亮介
	6	11:35～12:00	道床補修材の活用を踏まえた道床補修工法選定基準の検討	JR四国	高知保線区　施設技術係	齋藤　航
		12:00～13:00	**昼　　食**			
	7	13:00～13:25	トングレール先端部における摩耗推移の予測精度向上に関する一考察	JR東日本	首都圏本部　品川保線技術センター　主任	横井　亮太
	8	13:25～13:50	分岐器の保守労力低減に向けた新たな試み	京阪電気鉄道	工務部　保線課　京都保線係　樟葉班　助役	橋口　侑耶
	9	13:50～14:15	山陽新幹線冨田トンネルの路盤変状箇所における特殊な締結装置を用いた列車動揺対策	JR西日本	新山口新幹線保線技術センター　徳山保線管理室 施設管理係	松原　陽大
	10	14:15～14:40	電磁式レール変位検出器の検測データを活用した軌道変位推定手法	JR北海道	函館新幹線工務所　施設技術係	中島　啓太
		14:40～14:50	**休　　憩**			
	11	14:50～15:15	曲線区間における合理的な軌道管理手法の構築	JR東海	関西支社　鳥飼保線所　施設技術係	黒田　祥太
	12	15:15～15:40	Naturally Sheetを活用した防草対策	JR西日本	近畿統括本部　姫路保線区　加古川管理室 施設管理係	八塚　康太朗
	13	15:40～16:05	レール削正車の効率的な運用方法に関する研究	JR東日本	新小岩保線技術センター　係員	榊原　拓真

備考：16時30分（予定）から、４階「桜」において講評および表彰式を行います。